

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKoLab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 73

2018 June

完成現場報告 島田市『ツナガリの家』

木と人のつながる暮らし

「こころばスクール 2017」第2回報告

床板の端材を使って

暮らしのアイテムをつくってみよう！



「昨年6月に完成した『ツナガリの家』は、『こらぼの家』(通信65号)と同じ敷地に建つ、Tさんご家族の住まい+鍼灸院の建物です。『こらぼの家』の号でも紹介しましたが、1つの敷地を共有し、お互いの建物と車庫兼新小屋で中庭を囲んだプランが大きな特徴ですが、2階の一部を奥さんの営む鍼灸院として計画し、住まいと仕事

心と体のバランス

「完成から2年経過したこの春、念願の庭が出来上がりました。中庭を中心に、様々な木々や草花を植え、お互いの玄関前にはそれぞれ違った趣の前庭やアプローチをつくりました。またTさんの家の前には自然農法にこだわった畑もつくられ、暮らしが徐々に形になっていく実感を感じています。今号では、『ツナガリの家』のこだわりと共に、計画段階のストーリーや庭づくりにについてもご紹介していきたいと思えます。

2P) 家の中心となる、薪ストーブと吹抜けのあるダイニングスペース。丸テーブルやペンダントライトはお気に入りを選び、毎日使う物だからこそ耐久性とシンプルなデザインを重視して選択した。

上) 道路から見て、右が『ツナガリの家』で左が『こらぼの家』。素材や色を合わせつつも屋根形状やボリュームを変えて全体をまとめている。共有の新小屋兼車庫の裏側に中庭を設けている。

場の両立も大きなテーマとして進めていきました。元々は自宅近くの事務所を借りて鍼灸院を営んでいましたが、お子さんの成長に伴い、家事や育児と仕事との両立が難しくなり、また自らの暮らしを通して、心と身体のバランスを考えていきたいという強い思いも重なり、住宅の計画に合わせて自宅の一部に仕事場を併設させる形で夢を実現していきました。今回の計画は、通常の家づくりにプラスして、鍼灸院や『こらぼの家』との関係など、考えていかないといけない事も多く、Tさんご夫婦とは本当にたくさんのお話を重ねてきました。その中で強く思った事は、タイトルにもつけたキーワード「木と人とのつながり」。鍼灸院や『こらぼの家』を通して色々な方が利用する建物になり、またTさんご夫婦の手柄や発信力で、多くの方々の出会いの場となる新しいつながりを生む場所になっていくと感じました。

木と人の

つながる暮らし

完成現場報告
島田市 / 『ツナガリの家』
文・写真 / コロラボ 山崎健治





広いデッキは子供たちの遊び場、季節に合わせて変化し、プールやトランポリンなどを置いて楽しんでいる。



ダイニングと和室との間にソファコーナーと階段を配置している。全体がひとつにまとまり、家族それぞれが好きなスペースを見つけて楽しんでいる。



キッチンからダイニングと中庭を眺める。車庫と芝生スペースとの間に常緑樹を植え、四季通じて緑が感じられる中庭をつくった。Tさんの選んだペンダントライトや薪ストーブ横のブラケットライトが個性的な雰囲気をつくっている。

コンクリートで覆ってしまうのではなく、雨が染み込み大地が呼吸できる駐車場兼緑地としました。芝生は管理が大変と懸念する方も多いですが、一面に広がる緑は訪れた方々の目を休め、また夏の照り返しや散水をする事で涼風を得る事が出来、人工物とは違う景色や空気を感ずる事ができる豊かな場所となりました。

中庭や駐車場など、草木の緑に包まれたTさんのお宅ですが、家の内部も木に囲まれた板倉構法でつくられています。耐震性や調湿性など、性能面から見た板倉構法の利点も多いですが、木や漆喰などの自然素材で包まれた心地よい空間は、それ以上にこの構法の良さを感じさせてくれます。さらりとした杉の床板は、梅雨時期でもベトつく事なく快適で、湿度の多い日はかえって窓を閉めていた方が涼しく感じられます。また壁に塗られた漆喰は、クロスとは違った光の反射で家の中を明るくしてくれ、数年が経過しても汚れが付きにくく、白く綺麗に保ってくれます。自然素材といえは、Tさんのお宅では、薪ストーブの背面に大谷石を積み上げました。通常は2cm程度の大谷石を壁に貼る事が多いのですが、背面(洗面室側)に薪ストーブの熱を伝えるため、あえて厚い石を積み上げています。単に積み上げるだけではのっぺりしてしまうので、数ミリの目地を入れて立体的に見せているのも特徴です。



和室から縁側、デッキと続き、中庭の樹々が景観と合わせて『こころぼの家』との目隠しの役割を果たしている。ガラス戸を全開放すると、デッキを通じて外部と内部が繋がり、心地よい開放的な空間が生まれる。

外も内も 木に包まれた暮らし

道路から見て右が『ツナガリの家』で左が『こころぼの家』(P3写真参照)。外観は同じ杉板と漆喰でまとめています。大きな屋根形状などは、あえて変化をつけています。今回の計画は、窓格子や色合いなどを合わせつつ、屋根勾配や形状、軒先をつくり方については違った納まりとしています。一つの敷地の中に2つの建物を考え、それぞれの大きさや位置、駐車場や玄関配置などをTさんと共にシミュレーションしていきました。計画当初から一貫していたのは、共有部分を設けて、植栽で柔らかな区切りをつけることでした。住まいと鍼灸院、展示場という3つの違った要素を

無理なく配置し、それぞれの空間が快適でお互い良い関係性をつくること。また訪れた人や様々なイベントでも、無理なく利用できるスペースを確保する事が求められ、打ち合わせの中で多くの時間をかけて検討していきました。最終的には、中庭と駐車場スペースを共有部分とし、中庭にはそれぞれの空間に合わせて目隠しを兼ねた植栽計画をしました。Tさん側には、デッキとつながる芝生スペースを設けて子供たちの遊びスペースを確保し、また、道路からの視線を遮るために、車庫と芝生との間に常緑樹を植えました。空間を区切る事で狭く感じる事もありますが、柔らかな木々で仕切ると圧迫感はなく、逆に空や周りの風景と一体となった広がりを感じさせてくれる中庭になりました。『こころぼの家』側には大きな木々を建物寄りに植え、訪れた人の視線が間近な木々に向くようにしています。中庭に植えた樹種は、ヤマモミジやカエデ、ヤマボウシなどの落葉樹に加え、ソヨゴ、モッコク、キンモクセイなどの常緑樹を植えました。落葉樹は新緑から紅葉までの変化を楽しみ、常緑樹は目隠しの役割も兼ねて窓の配置に合わせて植えています。植栽をした事で小鳥たちが来るようになり、木々の変化と合わせて観察も楽しみのひとつになりました。駐車場は、鍼灸院や展示場は車での出入りも多くなると考え、敷地幅いっぱいには共有の駐車場を設けました。地面を

人と人がつながる庭づくり



落葉樹と常緑樹が入り混じる四季を楽しむ庭

1F敷地平面図

今年の4月、待ちに待った庭が出来上がりました。“四季を通して緑を楽しむ庭”をテーマに、落葉樹と常緑樹が入り混じる植栽計画をたてました。今回庭づくりで感じたことは、樹々や草花を植えることで様々なつながりが生まれるということ。2つの家のつながりや、空や土地とのつながり。自然がつくり上げた幹や葉、花がそれぞれの境界を曖昧に繋げ、深みのある空間をつくっていくと感じました。樹々や草花は季節や時で姿を変え、いつも新しいつながりをつくってくれます。まだまだ出来たばかりのお庭、これからの成長や変化を楽しみにしていきたいと思っています。



造園：有限会社東香園

来客を楽しませてくれる工夫と細部のこだわり

鉄平石の飛び石や玄関に設けた植栽など、Tさんのお宅は来客を楽しませてくれる工夫がいっぱいです。季節や時間、天気によっても見え方が違い、何度訪れても新しい発見に出会う場所だと思います。また、内部もTさんならではのこだわりが垣間見え、機能とデザインのバランスが細部の雰囲気をつくり上げています。



左) 中庭から玄関を見た夕景。鉄平石の飛び石で繋がり、周りの植栽の間を通り抜ける楽しい場所になった。

右) 車庫と畑の間に設けた飛び石のアプローチ。車庫と芝生スペースの間に植えた植栽で中庭が見え隠れし、程よい関係を生んでいる。



コーナー窓のある木の浴室。定番の青森ヒバを壁と天井に張り、心地よく香りの良いお風呂になった。



人工大理石天板を利用したオリジナル洗面化粧台。壁に合わせて天板が斜めにカットされている。



背面に大谷石を積み上げた薪ストーブスペース。ストーブは『コンツウラヤンソソC52』。



大きなFIXガラスのある玄関スペース。窓にはウッドブラインドを掛け、日差しと視線を程よく遮っている。

仕様内容

家族構成	4人
敷地面積	260.28㎡
建築面積	86.70㎡
延床面積	136.88㎡
構法	落し込み板壁構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼 漆喰コテ押え仕上
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、桧(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚30mm・12mm 青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm
壁	漆喰塗、青森ヒバFJ本実板張り、 大谷石張り
床	杉本実板 厚30mm
内部建具	桧木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	TOTO 人工大理石天板 システムJオリジナル洗面化粧台
浴室	日比野化学工業 ハーフユニットバス、 青森ヒバ貼

設計・施工/有限会社こころ木造建築研究所
竣工/平成28年6月

はりきゅう 治療室すずみ

多くの病や症状は、五臓六腑の不調から発することがほとんどです。脈診を中心とした診療法を用い、ココロとカラダにあった治療(調整)する場と、セルフケアのための情報を提供しています。



2F平面図



ベッドとタタミで4床の治療台がある。木に包まれた治療室。

心と体をつくる住まい

木を太く厚くふんだんに使い、家の隅々まで自然素材で仕上げられたTさんのお宅は、一見とても贅沢な家を感じられるかもしれない。確かにコストの面では、建材を使った一般のお宅に比べてアップしているのは事実ですが、毎日が気持ちよく、視覚的にも体感的にも心地よい住まいである事が家族の元気に繋がります。心も体も充実していくのだと思います。鍼灸院を営んでいるという仕事柄、心と体のバランスをとることも大切になっているTさんご夫婦にとって、毎日の食べものや着るものと同じく、毎日を通す住まいに対しても真剣に向き合い、自分たちの暮らしに最適な住まいをつくり上げていきました。完成して2年が経過し、木の色もだんだんと落ち着いてきました。子供たちもこの家に慣れ、家の中でも外でも好奇心旺盛に毎日を元気に過ごしています。何気ない毎日ですが、その毎日の積み重ねが心と体をつくり、子供たちが成長していくのだと考えると、木の住まいや庭の樹々は贅沢ではなく、むしろ無くてはならないものになっていくのだと思います。Tさんとは様々な面で協力し合い、今後この場所を成長させていきたいと思っています。



何やら夢中でつくっています。何が出来るかな？



ノコギリにも慣れてもらいながら、自分の手で加工してもらいます。



電動機械でのビス止めも、やってみればできるものです。

「イベント案内」

募集中!

家づくりにかかるお金の話と税金について税理士さんに訊いてみよう!

場所：ここらぼの家

日時：2018年10月21日(日) 13:00~16:00

- ①木の家づくりにかかる費用って何がある？
 - ②家づくりにはどんな税金がかかるの？
 - ③相続する時、された時にも税金がかかるの？
- こんなテーマに興味がある方は、ぜひ参加してみてください。

◎ 参加者の感想

- 本日はノコギリだったので垂直が難しく大工さんの偉大さを感じました。(男性・一人で参加)
- 時間があっという間に過ぎたと感じるくらい楽しかったです。のこぎりに苦労しましたが少しは上達したかな？(女性・親子で参加)
- できないことばかりでしたが丁寧に教えていただきなんとか形になりました。とても楽しかったです。(女性・親子で参加)
- スクールでは機械で木材をカットしてもらえるのが嬉しく思っていたのですが、今回のこぎりばかりの使用をすると、切りながら木材の新しい使い方を思いついたり、手芸をするような楽しさと達成感を覚えました。今まで邪魔してばかりの息子が一人で作品をつくらせている姿に月日と成長を感じました。(女性・家族で参加)

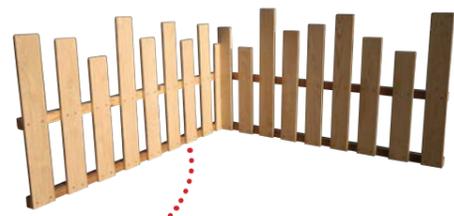
その場にある材料でつくる

ここらぼスクールでは基本的には建築の端材を使ってつくってもらうので、全く同じ端材が揃っていません。その中で選んでもらうのでみなさんの工夫や思い付きで作品が出来上がっていきます。前回に続き「クリ」「ヤマザクラ」の床板の端材を出しました。色合いが綺麗で堅い材料ですので、魅

く切れなくても不恰好でもいいと思います。使う向きを変えたり、やすりで調整すればいいのです。自分の手で頑張った加工した作品は売り物とは違った味わいがあり、素敵なのです。そんなアイテムが今日もたくさんできました。

せたい面に使ったり、肌に触れる面を使うなど特徴を活かした作品が目立ちました。そういった中で印象的だったのが、床板のつなぎ目である実を使った作品です。他の方たちが不要でカットした部分を逆に利用して、隙間を埋めたところが模様になっており、意匠的にも素敵な作品が出来上がっていました。イメージを膨らませながらで手さぐりで作業してつくっていく作品だからこそ、できたものではないかと感じました。私たちがからすると捨ててしまう端材ですが、みなさんの作品としてこうして生まれ変わっていくことを嬉しく思います。今年度の2月の木工WSも少し空きがありますので、ぜひご参加ください。

(文：堤 健次)



クリのフェンス
シンプルですが、リズム感良く並べられたクリの板がかわいいですね。角も丸くして優しい印象。

小さな子供椅子
お子さん3人の特等席です。背と座面がクリでできた素敵な椅子です。



「ここらぼスクール2017」 そなえる 一木の家暮らしにむけてー

ワークショップ

第2回
WS報告

床板の端材を使って暮らしのアイテムをつくってみよう!



大工に材料の寸法や使い方を相談中。

自分の手で切ってみよう!

前回までのWSでは効率よく作業をしてもらうために電動機械を使っていましたが、きれいに簡単にできれば一番なのですが、創意工夫しながらできるだけ自分たちの手でつくる、その過程をも楽しんでもらうのが

昨年年度の木工ワークショップ(以下WS)もたくさんの方が参加して下さい、捨てられるはずだった端材たちが素敵な作品に生まれ変わりました。切る作業をノコギリのみで行うというルールで行った第2回WS。みなさんなかなか苦労されたようですが、いい作品がたくさんできました。今回はその様子を報告します。

が本来なのではないかと考え、今回はノコギリで材料をカットしてもらいました。ところでみなさんはノコギリの使い方をご存知ですか？ 力を入れてゴリゴリ押したり引いたりするだけじゃないの？ と思うのですが、それだけではなかなかうまく切れません。ゆっくりでいいのでまっすぐ引き、引くときに力を入れることなど意識するだけで疲れずうまく切れるコツがあります。刃にも種類があり木目に平行に切る「タテ引き」や直交するように切る「ヨコ引き」があるので使い分も大事などのアドバイスを聞きながら作業は進みます。ノコギリでの作業は大変だったようで、最後の感想にも多くの方が苦戦したことを書かれていました。ですが少しくらいうま



クリ
心材は淡い褐色、辺材は淡白色。時間が経つと段々色が濃くなってきて一段と輝きが出る。

ヤマザクラ
艶やかな木肌で心材は褐色、辺材は淡い黄褐色。やや重硬で反りや曲がり少なく、加工性はよい。

ランドセルラックとそのスケッチ
常連のK夫妻、年々レベルが上がっています。既製の引き出しとスノコで立派なラックが完成。



捨ててあった板の実で隙間を埋めるアイデアもいいですね。



あらかじめ描いてこられたスケッチも味があります。

子供たちの机

白い板が貼られた端材を見つけて、子供たちがお絵描き。かわいい机になりました。



ガーデニングテーブル

外でも使っても長持ちするように、杉の赤身を使ったテーブル。雨が当たらないように下からビス止め。



「発酵食のある暮らし」

日本の国産「糀」からできる甘酒・塩麹、お味噌やお醤油・味醂などの発酵調味料には、普段のごはんをもっと美味しく楽しく健康的にしてくれる魅力が、たくさんたくさん詰まっています。発酵食のある暮らし、始めてみませんか？

味噌レシピⅢ | 白味噌ときなこのスノーボール



材料/15個分

- 米粉…50g
- きな粉…20g
- きび糖…15g
- 白味噌…大1
- 豆乳…大1
- 菜種油…30g

作り方

1. 米粉ときな粉ときび糖を混ぜる
2. 白味噌と菜種油を混ぜる
3. 1.と2.をボロボロするように、すり混ぜる
4. 豆乳を加えてまとまるまで混ぜ、手で丸めながら15個に分ける
5. 160℃で17分焼く。予熱がとれたら、きな粉をまぶして出来上がり

手前味噌



日本が誇る国産「糀」からできる発酵調味料のひとつ「味噌」。昨年11月～1月の寒い時期に仕込んだ寒仕込み味噌は、3か月経った今くらいから楽しむことができます。まだ若く白いお味噌は糀の香りと甘みがたっぷり。お菓子にもぜひ使ってみてくださいね！

糀調味料「白味噌」

ゆでた大豆と米麹、塩を発酵させてつくります。大豆の倍の糀を使用することで甘くて白いお味噌になります。たんぱく質や乳酸菌なども豊富、なかでもGABA(アミノ酸)は中性脂肪を抑えたり、イライラを抑制する効果もあります。



「madoi」

発酵食スペシャリスト・調理師

静岡市東鷹匠のアトリエやカフェなどでお料理教室や「発酵ごはんの会」を開催。ケータリング、発酵ごはんのお弁当なども。スケジュールはブログをご覧ください。
 [Blog] <http://www.madoi-biyori.cocolog-nifty.com>
 [instagram] @madoi1011
 [e-mail] tsujimuramadoka@gmail.com



「ココラボ設置店」より…

こだわりのお店紹介

Lalala ♪ PLaNET plus



藤枝市蓮華寺池公園近くに、6月より野菜のセレクトショップ！無農薬野菜だけの八百屋がオープンします！地元の自然農法野菜と有機野菜を扱っています。生産者さんの顔が見える八百屋です。野菜の簡単で美味しい食べ方もお伝えします。お気に入りの生産者さんを見つけてくださいね♪ 簡単なランチなどやっていますので、お気軽にお越しくださいませ。

Lalala ♪ PLaNET plus

藤枝市若王子1-2-34
 [TEL] 090-1985-6285
 [OPEN] 10:00～16:00
 [定休日] 不定休
 [SNS] Facebook「Lalala PLaNET plus」で検索
 LINE @swc2530a

Lalalaさんからお知らせ

美味しい野菜を使ったランチ！

お店では美味しい野菜を使った「くみの気まぐれランチ」もお出ししています。その日の入荷野菜によりメニューや品数が変わります。お米は無農薬、調味料も無添加の物です。安心して食べていただけます。お中元や贈答用のお野菜とお米や無添加ベーコン、乾麺などでセット販売もしています。セット内容もご相談下さい。



小石安之助商店



焼津産の海の幸を、昔ながらの製法で「だし」に加工しています。一本一本、職人が丁寧に造る「枯れ節」は、創業以来、当社の発酵蔵に住み続ける蔵付き優良菌との共同作品です。そうして造られた「だし」は優しい味の、どこか懐かしい深い味わいを醸します。一杯のみそ汁が、あなたとあなたの家族に、ほっとする時間と、幸せの時間を作れますように、「だし」を造っています。

小石安之助商店

焼津市浜当目2-6-7
 [TEL] 0120-17-5148
 [OPEN] 8:00-17:00
 [定休日] 日曜、祝日
 [URL] <http://maruchyon.com>
 だしの試飲、工場見学、随時お受けしています。お気軽にお立ち寄りください。

小石安之助商店さんからお知らせ

新商品「焼津だし職人 枯れ節四選」

最後の一滴まで美味しい「だし」。さば、鰹、宗田鰹、むろあじの四種類の枯れ節に、北海道産昆布を加えて便利なだしパックに仕上げました。だし素材をふんだんに用いているので、パックのまま煮出すほか、パックを破いて調味料としても様々な料理にお使いいただけます。毎日の料理の基本であるだしを、安心安全そして手軽に取っていただけます。



発行人 有限会社ころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココロボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝

印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココロボ通信』、また『こころぼスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

昨年の暮れから取り組んでいる島田市の保育園の設計が急ピッチで進んでいます。藤枝市の青葉ひよこ保育園さんと同様、地域木材をふんだんに使った木の保育園を計画中です。素足で木の床を駆け回ったり、床に布団を敷いて寝ている姿を見ると、やはり無垢の木の床の必要性を感じます。『ツナガリの家』と同様、無垢の木を使うことが贅沢な事に思われがちですが、子供たちの姿を見ていると、ごく自然な選択だと実感します。家づくりの中で様々な制約もあると思いますが、人が触れる床や壁などをコストだけで考えず、最良の選択をしていただきたいと思います。6・7・8月は3軒のお宅が完成予定です。HP、FBをチェックしてください。(山崎健治)



🏠 藤枝市『テンテンの家』完成見学会を行います。

2月に建前を行った『テンテンの家』がいよいよ完成間近となりました。板倉構法に加えて外壁の大部分を杉板で張り、今まで以上にふんだんに木を使った住まいとなりました。建具や家具などの細部にもこだわり、金具やガラスなどにもOさんのセンスを感じる建物になりました。夏の暑い季節の見学会となりますが、木の家の心地良さを感じていただけたらと思います。是非この機会にご参加ください。

◆ 日時：2018年8月上旬(土・日) 10:00~17:00

◆ 場所：藤枝市

※見学会の詳細情報はココロボホームページ [http://www.kokolab.jp]でお知らせします。

※予約制となっておりますので、当社までご連絡下さい。(ご予約後、案内図を送らせていただきます)

🏠 構造見学会

藤枝市『H邸』

◆ 日時：2018年7月下旬(日)
10:00~17:00

◆ 場所：藤枝市

※予約制となっておりますので、当社まで
ご連絡下さい。

🏠 木の家相談会

木の家仕組み、予算など、
何でもご相談ください。

◆ 日時：7月7・8日(土・日)
8月4・5日(土・日)

10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：『こころぼの家』

『こころぼの家』information

『こころぼの家』では毎月テーマを決め、ココロボ通信設置店さんなどに協力をいただきながら暮らしにまつわる展示やイベントを行っています。また四季の暮らし方に合わせた木の家暮らしを体験できるみんなの木の家として、様々な企画をしています。

7月

楓(TENO-HIRA)さん主催

iro-no-wa

7月2日(月) 11:00~16:00

暑い夏のはじまりの小さな「tea party」のような時間をお届けするミニマルシェ。冷たいお茶や夏のドリンク。季節のスイーツやジャム。パーティーを彩る器に小物。そしてアクセサリ。様々な色が溶け合って混ざり合って生まれるスペシャルな一日を楽しんでいただけたら…。涼を感じる木の家で皆様のお越しをお待ちしています。

出店

- ★楓(TENO-HIRA)
- ★M's café
- ★さんぽ舎
- ★コスモコーヒー
- ★たむらのうえん
- ★さじかげん
- ★nimes

詳細は、

Facebookページ[生活雑貨の店 楓(TENO-HIRA)]、
Instagram [@tenohirazakka] でご確認ください。



8月

doma雑貨店さん主催

保存食・常備菜を美味しくいただく

8月5日(日) 10:30~15:00

Eckeさんの鶏肉の塩レモン漬けやニラ胡麻ソース作りのワークショップを開催します。その他、自然農法のお野菜、乳製品不使用のベーグル、手作り味噌や甘酒、竹かごやざるなど昔ながらの手仕事道具をお届けします。心地よい空間でのんびりとお過ごしください。詳しくは「doma雑貨店」Facebook、Instagramでご案内致します。



◆ 場所：『こころぼの家』 島田市東町1370-4

イベントの詳細や今後の展示・イベントなどは、当社Facebookページ(https://www.facebook.com/kokolab.tuushin/)でお知らせしていきます。また、見学や体験などについては随時予約を受け付けていきますので、電話やメール、お問合せフォームなどお気軽にご連絡ください。